

Europe Trends

発表日: 2021年1月5日(火)

イタリアの終わりになき政争

～連立政権が再び崩壊の危機～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

◇ コンテ首相が率いるイタリアの連立政権は、政権の運営方針に不満を持つレンツィ元首相が率いる小政党が連立離脱の可能性を示唆しており、崩壊の危機に瀕している。連立離脱の場合も、右派ポピュリストの政権奪取につながる解散・総選挙は回避される可能性が高い。レンツィ氏の要求を受け入れる場合、左派寄りポピュリスト色が残る五つ星運動の連立政権内での影響力が弱まる一方、欧州復興基金の計画策定に党派間の争いが持ち込まれる恐れがある。

コンテ首相が率いるイタリアの連立政権が再び崩壊の危機に瀕している。連立政権の一角を占める小政党イタリア・ビバを率いるレンツィ元首相は、首相への権限集中の見直し（連立パートナーの声を政策に反映する）、より改革志向で効果的な政策方針の採用、欧州復興基金のガバナンス改善（首相が任命する専門家ではなく議会が主導する）、医療体制充実に向けた欧州安定メカニズム（ESM）の融資枠利用申請、ワクチン接種の迅速化などを求めており、自身の要求が通らない場合、連立政権から離脱する意向を示唆している。コンテ首相は今週中にも、連立政権を率いる五つ星運動、かつての政権与党で中道左派の民主党、民主党を離党した党内中道勢力のイタリア・ビバ、同じく民主党を離党した党内左派勢力の自由と平等の党首と会談し、今後の政権の運営方針を議論する。7日に経済復興計画を巡る議会審議が予定されており、それまでにレンツィ氏の要求を一定程度受け入れるか、内閣改造や連立組み換えを行うかの結論を下すとみられている。

議会任期の満了は2023年6月末と時間があるが、同国では上下両院で過半数の信任が得られない場合、前倒しで議会解散・総選挙を行うことが多い。議会の解散権はマッタレラ大統領にある。各種の世論調査では連立与党が軒並み支持を落としており、伸張著しい右派ポピュリスト政党・イタリアの同胞、かつて五つ星運動と連立を組んだ右派ポピュリスト政党・同盟、バルルスコーニ元首相が率いる中道右派のフォルツァ・イタリアの支持率の合計が50%前後に達し、右派勢力が政権を奪取する可能性を示唆する。また、昨年9月に行われた議員定数を3分の2に削減する国民投票が賛成多数の結果となり、次の総選挙までに定数削減を踏まえた新たな選挙法（選挙区割りや選出方法などを見直す）を整備する必要がある。与党勢は下野が確実なうえ、与党議員の多くが議席を失う早期解散に否定的で、この段階での総選挙は回避される可能性が高い。

コンテ首相がレンツィ氏の要求を受け入れる場合、左派寄りポピュリストである五つ星運動の連立政権内での発言力が弱まり、より改革志向の政策が採用される可能性が高まる。五つ星運動の議員の間で抵抗が大きいESMの利用申請にも道が拓かれ、財政リスクに晒されやすい同国の財政基盤が安定する。ただ、欧州復興基金のガバナンスに議会関与が強まれば、復興計画の決定にも党派間の争いが持ち込まれる恐れがあり、迅速な決定や効果的な資源配分が損なわれる恐れがある。

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。